

(Abridged English Translation)

Cited Document 1

Japanese Utility Model Application Laid-Open No. 188,646/1985

Published: December 13, 1985

Filed: May 26, 1984

Application Serial No. 77,802/1984

Applicant: IKEDA CORPORATION

Title of the Utility Model:

“ Seat ”

公開実用 昭和60—188646

⑬ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭60-188646

⑭ Int.Cl.⁴

B 60 N 1/10

識別記号

庁内整理番号

B-7332-3B

⑬ 公開 昭和60年(1985)12月13日

審査請求 未請求 (全 頁)

⑭ 考案の名称 座 席

⑮ 実 願 昭59-77802

⑯ 出 願 昭59(1984)5月26日

⑰ 考 案 者 児 玉 雅 博

岐阜県不破郡垂井町498番地 池田物産株式会社岐阜工場
内

⑱ 出 願 人 池田物産株式会社

⑲ 代 理 人 井理士 宇佐見 忠男

横浜市保土ヶ谷区東川島町1番地の3

明 細 書

1. 考案の名称

座 席

2. 実用新案登録請求の範囲

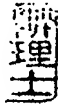
床に収納凹部を設け、該収納凹部に出入れ可能に背もたれ部を収納し、該背もたれ部の下側には内部に気体を圧入もしくは排出することによって膨張収縮可能な座部を収納したことを特徴とする座席

3. 考案の詳細な説明

本考案は自動車等に設置される座席に関するものであり、不使用時には床に収納して車内の空間を有効に利用出来ることを目的とし、床に収納凹部を設け、該収納凹部に出入れ可能に背もたれ部を収納し、該背もたれ部の下側には内部に気体を圧入もしくは排出することによって膨張収縮可能な座部を収納したことを骨子とするものである。

本考案を図に示す一実施例によって説明すれば、
(1)は自動車の床であり前部には座部(2)と背もたれ

(1)



部(2)とからなる座席(2)が設置され、バルクヘッド(5)を介して後部には収納凹部(3), (4)が設けられ、該収納凹部(3), (4)には座席(3), (4)の座部(3), (4)および背もたれ部(3), (4)が収納されており、収納状態では第1図に示すように背もたれ部(3), (4)の背面と床(1)の面とは面一になっており、車内にフルフラットの床が形成されている。この状態ではこの空間(8)は荷物置場として、あるいはマット等を敷いて寝室等に用いることが出来る。該座部(3), (4)は例えば弾性を有する柔軟なゴムかプラスチックのシートからなる袋状のものであり、該座部(3), (4)には空気を圧入または排出する導通管(6), (7)が連絡し、一方背もたれ部(3), (4)の下端部は収納凹部(3), (4)の後端部にフレーム(40), (40)を介して回動自在に取付けられている。そして第1図の不使用时の収納状態では座部(3), (4)内の空気は排出され座部(3), (4)は収縮状態となっている。次いで収納凹部(3), (4)に収納されている背もたれ部(3), (4)を引き起こし座部(3), (4)内に導通管(6), (7)から空気を圧入すると座部(3), (4)は膨張して第2図に示す

ように座席(3)、(4)が構成される。次いで座部(31)、(41)から空気を排出して収縮させ、背もたれ部(32)、(42)を前に倒して収納凹部(33)、(43)に収納すれば第1図の収納状態に戻る。この状態で背もたれ部(32)、(42)は収納凹部(33)、(43)の後壁によって支持される。

本考案は上記構成を有するから不使用時には座部内の空気等の気体あるいは液体を排出して座部を収縮せしめ、その上に背もたれ部を収納すれば床には座席が存在しなくなり、その空間(8)が荷物置場や寝室等として有効利用出来るようになる。また座部には冬期温風もしくは温水、夏期には冷風もしくは冷水を導入して暖房や冷房を図ることも出来る。

4. 図面の簡単な説明

図面は本考案の一実施例を示すものであり、第1図は収納状態説明図、第2図は使用状態説明図である。

図中、(1)……床、(3)、(4)……座席、(6)、(7)……導通管、(31)、(41)……座部、(32)、(42)……背もたれ部、(33)、(43)……収納凹部

図 1

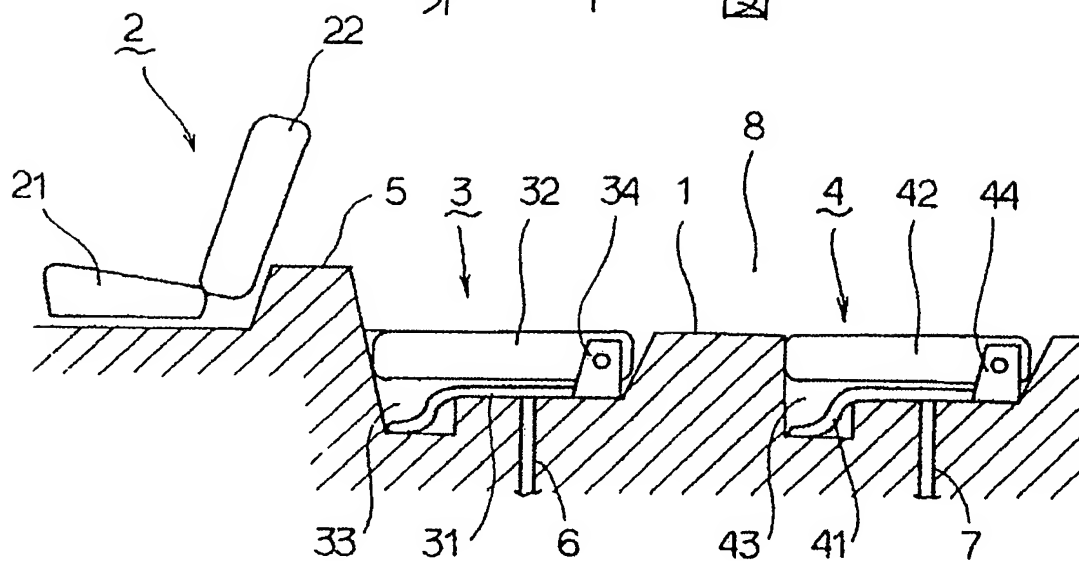
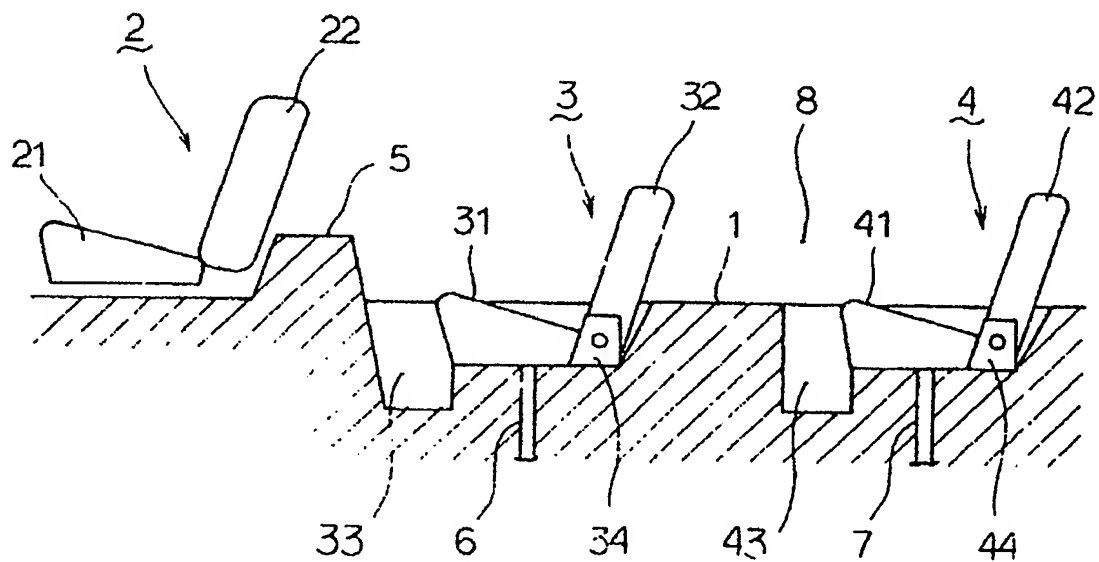


図 2



⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭60-188646

⑮ Int. Cl.

B 60 N 1/10

識別記号

庁内整理番号

B-7332-3B

⑭ 公開 昭和60年(1985)12月13日

審査請求 未請求 (全1頁)

⑮ 考案の名称 座 席

⑯ 実 願 昭59-77802

⑰ 出 願 昭59(1984)5月26日

⑱ 考 案 者 児 玉 雅 博 岐阜県不破郡垂井町498番地 池田物産株式会社岐阜工場内

⑲ 出 願 人 池田物産株式会社 横浜市保土ヶ谷区東川島町1番地の3

⑳ 代 理 人 弁理士 宇佐見 忠男

㉑ 実用新案登録請求の範囲

床に収納凹部を設け、該収納凹部に入出れ可能に背もたれ部の収納し、該背もたれ部の下側には内部に気体を圧入もしくは排出することによつて膨張収縮可能な座部を収納したことを特徴とする座席。

1図は収納状態説明図、第2図は使用状態説明図である。

図中、1……床、3、4……座席、6、7……導通管、31、41……座部、32、42……背もたれ部、33、43……収納凹部。

図面の簡単な説明

図面は本考案の一実施例を示すものであり、第

